

取扱説明書

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



DUAL GAUGE RS

OBDタイプ

ホワイト照明 オレンジ照明

ブースト + デジタル

DRX-B / DRX-BO

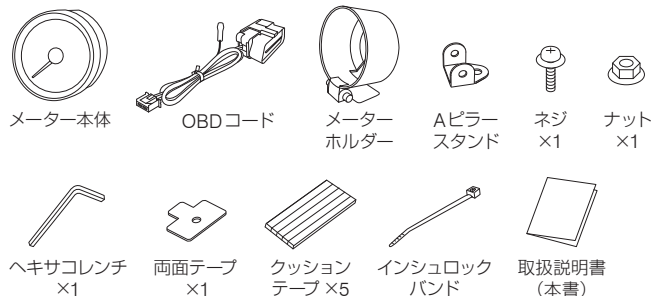
エンジン回転 + デジタル

DRX-T

目次

セット内容・警告・注意	1
特長	1
各部の名称と表示の種類	2
配線接続方法	2
製品の固定	2~3
基本操作方法	3
表示の切り換え方法	3
ピーク値の表示とリセット	3
照明の明るさ調整	3
故障かな？と思ったら	4
(別売ブーストセンサー装着方法)	4

内容物をご確認ください



- ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しない場合があります。（センサー接続時を除く）
- 故障診断コネクタを利用する他社の製品とは併用できません。

- PIVOT製OBD装着製品の併用については、こちらをご確認ください。
<https://pivotjp.com/obd/>



警告

下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輛破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品固定や配線処理は確実に行う
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意

下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。
アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

特長

コスパと装着性に優れた次世代ゲージ。 ユニット不要、サブコンにも高精度、OBDへ簡単装着。

変化を読み取りやすい指針表示と、細かな変化がわかるデジタル表示に特性に応じた複数表示と、メーター部のみで別ユニットも不要とすることで更に簡単な装着ができます。DRX-B / BOはサブコン使用時には別売センサーを装着することでより高精度な計測も行えます。

デュアル表示

指針表示とデジタル表示に複数のデータを見やすく表示。

3段階調光の照明

照明は便利な3段階の照度調光機能。

ブラックベゼル

窓ガラスへの映り込みや外光の乱反射を抑える艶消しブラックベゼルを採用。

メーターホルダーを付属

メーターを様々な場所に両面テープなどで簡単に設置できるフルカーバタイプのメーターホルダーを付属。

ピークホールド

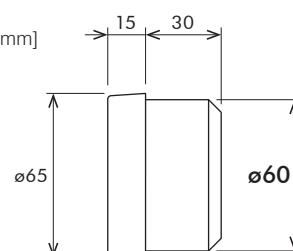
エンジン始動後のピークホールド値を表示可能。

新しいオープニング動作

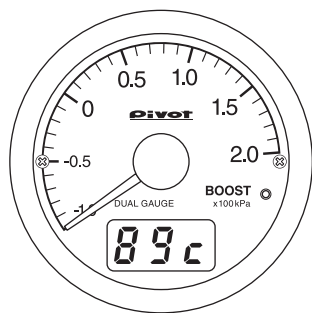
エンジン始動時のオープニング動作は、従来品の3.5秒から1.5秒に短縮。

サイズ

[単位: mm]



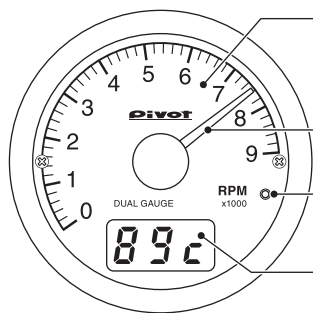
各部の名称と表示の種類



ブースト計 DRX-B / DRX-BO

ブースト圧 表示範囲
-100~154 kPa (OBD)
-100~200 kPa (センサー※1)

※1 別売ブーストセンサー装着時。
装着方法は4ページ参照。



タコメーター DRX-T

エンジン回転 表示範囲
0~9000 rpm

アナログ表示部

データを表示
表示中イルミは常時点灯 (3段階調光)

針 現在の数値やピーク値を表示

スイッチ デジタル部の表示切り換え
ピーク値の表示とリセット

デジタル表示部

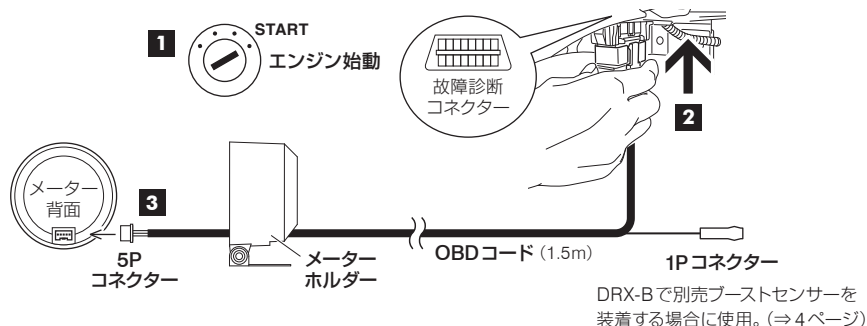
下記の4種類を切り換え表示 (一部車種を除く)

表示項目	表示範囲	用途
水温	-35~150 °C	オーバーヒート防止 低温 (60°C以下) 時の高回転注意
吸気温	-9~99 °C	高温時のパワー低下 クリーナーによる冷却効果の確認
スピード	0~255 km/h	走行速度と最高速度の確認 速度超過防止
電圧	8.0~18.0 V	充電・バッテリートラブル防止

DRX-B / DRX-T
ホワイト照明 (文字・針)
DRX-BO
オレンジ照明 (文字・針)

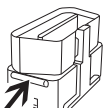
配線接続方法

- 1 エンジンを始動する。
- 2 OBDコネクタを故障診断コネクタに差し込む。
- 3 5Pコネクタをメーター背面に差し込む。



OBDコネクタ取扱時の注意点

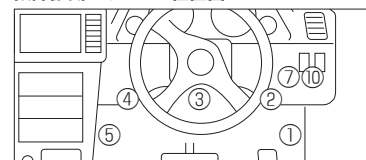
差し込み時や
抜き取り時は、
この凸部を
持ってください。



⚠ 注意

コネクタ抜き取り時、コードを
持って引き抜くのは絶対におやめ
ください。断線の恐れがあります。

故障診断コネクタ位置図



トヨタ	②③④	マツダ	②④⑩
ニッサン	②③④⑦⑩	スバル	①②③④
ホンダ	②④	スズキ	②③④
ミツビシ	④⑤	ダイハツ	②③④

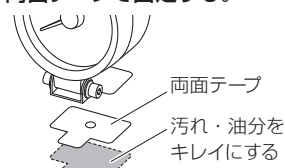
- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側 (フタ付の場合あり)
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側 (フタ付の場合あり)
- ⑤ センターコンソール右脇
- ⑦ ステアリング脇/パネル裏 (フタ付)
- ⑩ ステアリング右/パネル (小物入れ上部)

製品の固定

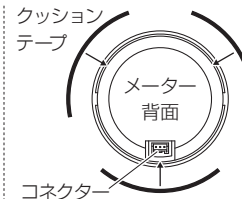
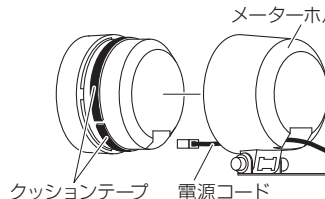
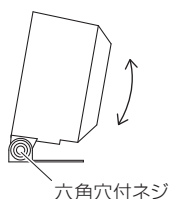
メーターホルダーを使用する場合

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

- 1 メーターホルダーを両面テープで固定する。
- 2 ネジを少しゆるめ、見やすい角度に合わせた後、ネジを締め固定する。
- 3 メーターにクッションテープを貼り、電源コードを接続しメーターホルダーに差し込む。
※ 抜けやすい場合はクッションテープを追加してください。

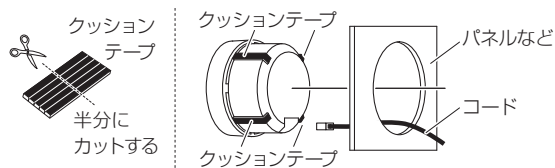


※ 粘着力が低下するため、
貼り直しは行わないでください。



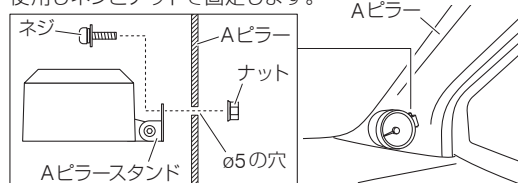
パネルなどに埋め込む場合

クッションテープを半分にカットし、圧入状態になるように枚数を調整してメーターに貼り、コードを接続しパネルなどに差し込む。



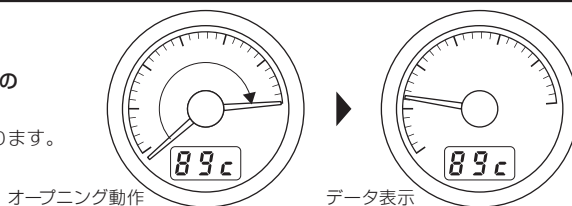
Aピラースタンドを使用してAピラーへ取り付ける場合

Aピラーの取り付けたい位置にφ5の穴を開け、Aピラースタンドを使用しネジとナットで固定します。

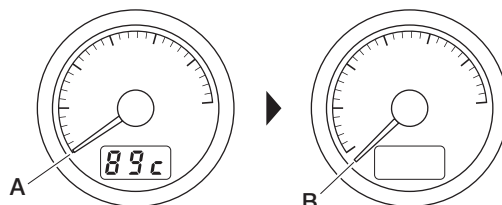


基本操作方法

- エンジン始動** ▶ 針がオープニング動作後にデータ表示。
- ※ 始動時のオープニング動作はステッピングモーターの針位置設定に必要な動作です。
 - ※ 車輛との通信上、動作開始まで数秒かかる場合があります。
 - ※ コネクター装着後またはバッテリー交換後は、初回のみオープニング動作が長くなります。



- エンジン停止** ▶ 針がAの位置へ移動し、イルミ消灯後にBへ移動。
- ※ 車種によっては消灯まで1分程度かかる場合があります。



表示の切り換え方法

デジタル表示の切り換え

メーター作動中、スイッチを押すごとに切り換わる

車種により表示項目が異なります。(対応車表参照)



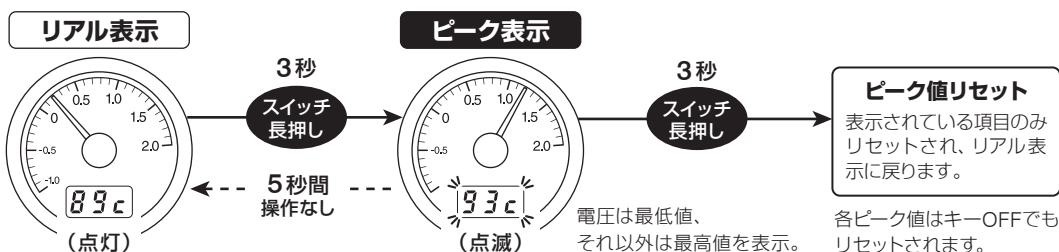
水温の見かた

-35 ~ -1°C	0 ~ 99°C	100 ~ 150°C
- 88	88 c	188
左の7セグが- (マイナス)	右の7セグが c	数値のみの表示

吸気温の見かた

-9 ~ -1°C	0 ~ 99°C
- 8 c.	88 c.
左の7セグが- (マイナス)	右の7セグが c.

ピーク値の表示とリセット



照明の明るさ調整

ドアミラーなどに照明が反射し気になる場合などの調整

- 1 スイッチ 6秒長押し
メーター作動中にスイッチを長押しします
- 2 3秒後にピーク値、6秒後に現在の明るさを表示
L-3 (例=L-3)
- 3 現在の設定が表示されたらスイッチをはなす
- 4 スイッチを押すごとに明るさが切り換わる
明るい L-3 → 中間 L-2 → 暗い L-1
製品出荷時は最も明るい状態 (L-3) の設定です。
- 5 設定を合わせたらスイッチをはなす
- 6 5秒間操作なしで通常表示に戻る ▶ 設定完了

故障かな?と思ったら

症 状	原 因	対 策
エンジン始動で動作しない。	5Pコネクタ OBDコネクタ の接続不良。	再度ご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。
始動時に切り換えたデジタル表示から始まらない。	デジタル表示切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると、設定は記憶されません。 3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
オープニング動作前に針が一瞬動く。	メーターの特性で、異常ではありません。	
表示が純正メーターや他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正メーターや他のメーターと誤差が生じる場合があります。	

別売ブーストセンサー装着方法 (DRX-B / BO) ブースト圧を車輛センサーではなく、別売センサー (相対圧) により計測する場合。

⚠ 安全のため、配線作業時はバッテリーの⊖端子を外してください。

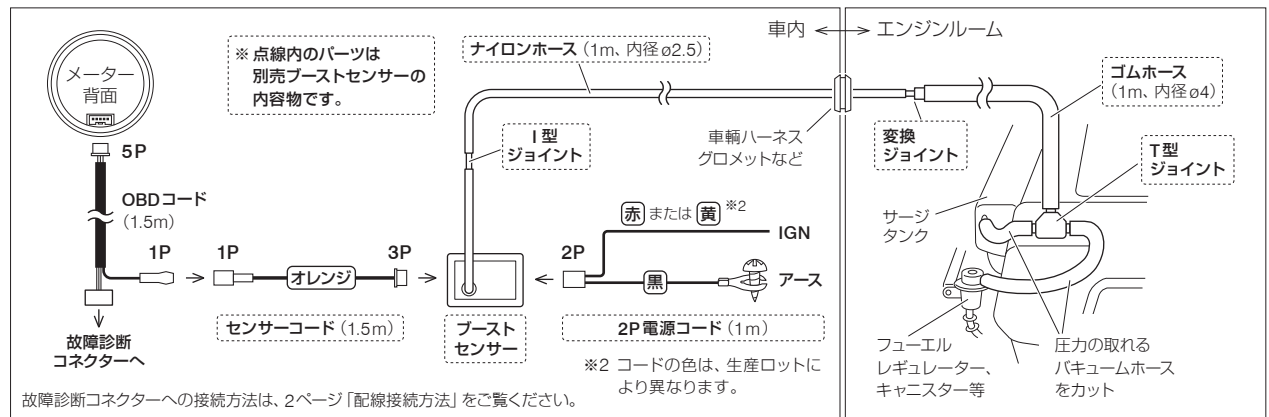
DRX-B / BOは別売センサーを追加することで、サブコン使用時や相対圧による高精度な計測が可能です。



ブーストセンサー
品番: XBS または XBS2
サイズ: 50×35×20 mm

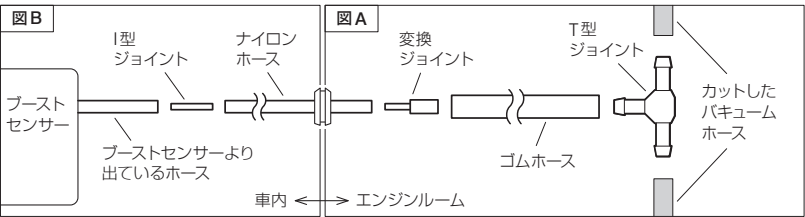
装着時に準備する道具と材料

- ・ニッパー
- ・圧着ペンチ
- ・絶縁テープ
- ・レンチ など



ブースト配管

- ① エンジンルームで、サージタンクやインテークマニホールドから直接出ている、圧力の取れるバキュームホースをカットする。(例: フューエルレギュレーター、キャニスター等へつながっているホース)
- ② T型ジョイントを割り込ませ、図Aを参考に、各ホースとジョイントを接続する。
- ③ ナイロンホースを車輛ハーネスグロメットなどを利用して車内へ引き込む。
- ④ 引き込んだナイロンホースとユニットのホースをI型ジョイントを使用して接続する。(図B)



⚠ 装着に関するご注意

- ブーストセンサーは必ず車内に取り付けてください。(エンジンルームは不可)
- ブーストセンサーから出ているホースを引っばって抜かないでください。
- 車輛の圧力のとれるホースがφ4以外の場合は、車輛に合ったサイズのジョイントを別途ご用意ください。
- ホースやジョイントはそれぞれ確実に接続し、簡単に抜けてしまわないか、圧力漏れはないかなどをご確認ください。(状況によっては、各接続部に抜け防止処理をしてください。)

IGN 赤 または 黄 ※2

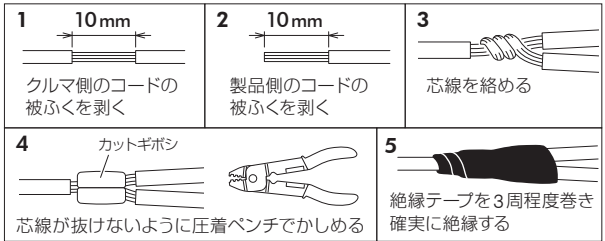
キースイッチ ON で+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。
(常時・ACC 不可)

※2 コードの色は、生産ロットにより異なります。

アース 黒 アース端子付

アースが取れる金属部のネジに固定する。
プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

【参考】カットギボシの使い方



※ 弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
※ 意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
※ PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。